



日・EU ビジネス・ラウンドテーブル プレスリリース

2010年4月19～20日に東京にて、岡村正東芝会長とジャン・イブ・ル・ガル、アリアンススペース会長兼CEOが共同議長を務める「日・EU ビジネス・ラウンドテーブル」年次会議が開催されました。日欧のビジネス界のリーダー約50名が一同に会し議論を行いました。

両議長は共同提言書を取りまとめ、来週開催される日・EU サミットの機会に、首相官邸に赴き、鳩山由紀夫首相、ヘルマン・ヴァン＝ロンプイ欧州理事会議長、ジョセ・マヌエル・バローゾ欧州委員会委員長に提言書を提出することになっています。

新たな日・EU 関係の構築を期待

日・EU ビジネス・ラウンドテーブルのメンバーは、「2001-2011年 日・EU 協力のための行動計画」が来年終了した後の日・EU の経済関係の将来について議論を行いました。特に、日・EU ラウンドテーブルは、日・EU 間の貿易投資関係を強化する為、経済分野における日・EU 間の戦略的パートナーシップを実現し、適切な枠組みを構築する様、両政府に対し、日・EU 関係を再考するよう促しました。

貿易投資協定が突破口となるか？

今回の日・EU ラウンドテーブルは、来週開催される日・EU サミットにおいて、前回の同サミットで合意された非関税障壁に関して課題解決に向けた進捗が認められれば、新たな貿易・投資協定に向けて両政府は議論を開始すべきであると提言しました。

より具体的には、日・EU ラウンドテーブルは、日欧間の貿易・投資の野心的な拡大を促進する為に、適切な条件が満たされると日・EU 両政府が合意次第早急に、バランスのとれた双方に有益な二国間協定の交渉を両政府は開始すべきであると提言しています。

重点分野はイノベーション、産業界における研究開発協力

本会議では、気候変動による問題、急速な需要の高まりによるエネルギー、原材料、食糧の危機的な不足の問題についても話し合われました。最後に、産業界における研究開発の協力関係の促進、次世代技術における協力関係強化のためのジョイントプログラムについても議論されました。

岡村議長からのメッセージ：

本日、過去 10 年間のラウンドテーブルの成果を分析した報告がありました。日・EU 両政府間および産業界での対話が一定の成果を上げたことがわかり、高く評価したいと思いません。

しかしながら、我々産業界にとっては必ずしも満足できる成果ばかりとは言えません。今後、日・EU 経済関係がより一層緊密になる枠組み構築を求めています。

ル・ガル議長からのメッセージ：

EU では新しい欧州委員会が発足し、日本では新政権がスタートし、今回の日・EU ラウンドテーブルは、日・EU 関係を再考すべき重要な時期に開催されました。

日・EU 産業界のリーダーは、日・EU 間の貿易投資関係の発展を妨げる規制や障壁を少なくする新しい枠組み構築を両政府に求めました。

日時： 2010 年 4 月 20 日 午後 1 時

場所： フォーシーズンズホテル椿山荘東京 1 階 ボールルーム

お問い合わせ先：

日欧産業協力センター（東京事務所）

山本ひろみ / 佐藤桂子 TEL: +81 3 3221 6161 FAX: 3221 6226,

日欧産業協力センター（ブラッセル事務所）

ヒラリー・ジョーンズ (Ms. Hilary Jones)

TEL: + 32 2 282 00 41 Email: hilary.jones@eu-japan.eu

東芝

角町昌之（つのまち まさゆき）

TEL: 03-5444-9215

アリアンスペース

ジョン＝ルイ・クロドン (Mr. Jean-Louis Claudon) Email: jl.claudon@arianespace.com

日・EU ビジネス・ラウンドテーブルに関する参考情報：

www.eu-japan-brt.eu